

くしろ 市議会だより



議会日程

5月臨時会

5/19
提案説明/委員会審査・採決/委員長報告/本会議採決

6/5
議会運営委員会

6月定例会 (会期10日間)

6/11
市政報告
提案説明
質疑・一般質問
6/12、13
質疑・一般質問
6/13
石炭対策特別委員会
6/16~18
常任委員会審査
6/19
委員会採決
6/20
委員長報告
討論
本会議採決



「キンレンカ・スズラン・エゾリンドウ」^{くぼた}久保田 ^{しおり}詩織さん(明輝高校3年)

5月臨時会では、市本庁舎耐震改修工事の契約締結や議員期末手当の独自削減条例などを原案どおり可決しました。
6月定例会では、本年度一般会計補正予算や重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例などを原案どおり可決しました。本会議及び委員会では、後期高齢者医療制度や水道事業の民間委託化などについて論議がありました。

重度心身障害がい者に対する医療費助成

……条例改正までは市が単独で助成……

4月から導入された後期高齢者医療制度に関連した、市重度心身障害者医療費助成条例の改正について、本会議及び委員会で論議がありました。

本会議では、後期高齢者医療制度に移行しなかった65歳から74歳までの重度心身障害がい者に対する医療費助成について質疑がありました。

理事者は、道は4月から後期高齢者医療制度への移行を条件とし、同制度の障がい認定を受けていない人を助成対象外とした。市も同様の取り扱いとなるが、事務の不手際により条例改正が遅れたため、条例が改正されるまでは、市が単独で医療費の助成をしていくと答えました。

委員会審査では、後期高齢者医療制度に移行しなかった対象者への周知方法について、文書通知だけでなく個別に訪問し、医療費の

負担割合など十分な説明をすべきでないか質疑がありました。

理事者は、移行しなかった対象者については、4月時点で相談を受けており、現在、助成対象になっていることは通知している。今後は、改正内容の周知を図るとともに、再度相談を受けるなど、混乱を招くことのないように努めていきたいと答えました。



市役所国保医療年金課窓口

〔市政ク 土岐政人 議員〕

〔災害時要援護者安否確認・避難支援モデル事業〕の取り組みに当たり、十分な説明が必要でないか。

〔協働会のメンバーと災害時要援護候補者の双方が、事業の趣旨や内容等の理解を深め、より効果的な活動ができるよう、検討を進めていきたい。〕

〔公 明 松橋尚文 議員〕

〔新規設置に限っている街路灯補助を、既存の白熱灯や水銀灯からLED灯への交換時まで、拡大できないか。〕

〔現時点では難しいが、LED導入によるまちづくり構想もあり、価格動向等を踏まえ、モデル地区設定や補助制度のあり方を検討したい。〕

〔市民連 藤原勝子 議員〕

〔後期高齢者医療制度はさまざまな問題点が指摘されており、廃止を求めるべきである。見解を聞きたい。〕

〔制度が廃止された場合、全国的に大きな混乱が生じる懸念がある。国の運用改善策等の動向を見ながら、道や後期高齢者医療広域連合などと連携し、対応したい。〕

〔くしろ 続木敏博 議員〕

〔愛国浄水場の更新に当たり、民間への全面業務委託を視野に入れるべきでないか。〕



更新手法が検討されている愛国浄水場

〔最新技術の導入が図られる場合には、施設の運転管理における技術的負担が軽減されるため、包括的民間委託の可能性を検討したい。〕

〔自新ク 戸田 悟 議員〕

〔釧路西港の新西防波堤整備に早期着手し、港灣機能全体の強化を図るべきでないか。〕

〔釧路港を国際海上輸送ネットワークの拠点として発展させるためにも極めて重要であり、整備中の島防波堤とあわせ、積極的に国と協議を進めていく。〕

〔阿音ク 鶴間秀典 議員〕

〔レジ袋削減推進委員会をつくり、有料化に向けた取り組みができないか。〕

〔レジ袋削減のための社会的理解は高まっている。同推進委員会の必要性なども含め、具体的な推進方法を消費者協会や小売事業者、行政の3者間で話し合いたい。〕

〔共産党 村上和繁 議員〕

〔道教委が発表した21年度から3力年の公立高校配置計画案は、間口の増減を機械的に繰り返すもので、中学校の進路指導に混乱が生じないか。〕

〔生徒の進路決定や教員の進路指導等の問題が危惧されるため、道教委へは機会あるごとに慎重に対応するよう要望している。〕

〔くしろ 草島守之 議員〕

〔18年度の政務調査費に關し、今回の住民監査請求で監査した以外の部分について再度の監査を行い、内容を明らかにすべきでないか。〕

〔まずは議会と長の立場で全体の執行状況の再点検を行い、適正執行に取り組むことが、市民の信頼回復の上から重要と考えている。〕

〔くしろ 笠井龍司 議員〕

〔「ふるさと納税」の今後の取り組みを聞きたい。〕

〔ふるさと会や同窓会、企業等へ継続的に呼びかけるとともに、観光体験者や長期滞在者などへも周知を図り、釧路地域との交流関係を深める中で、協力をお願いしていきたい。〕

〔共産党 梅津則行 議員〕

〔外出機会の少ない高齢者が気軽に立ち寄れる居場所づくりに、市営住宅の集会所を活用できないか。〕

〔地域へ開放することは、利用者にも集会所の運営にもメリットがある。維持管理経費がかかるため自治会の理解を得たい。〕



市営住宅美原第3集会所

〔が必要だが、利用拡大に向けて可能性を検討したい。〕

〔共産党 大森昌子 議員〕

〔後期高齢者医療制度の相談窓口である、国保医療年金課の業務量が増大している。担当の課を設置できないか。〕

〔6月以降の業務量と負担を見極め、必要に応じて組織の再編・見直し等を検討したい。〕

〔公 明 秋田慎一 議員〕

〔教職員に対するアレルギー疾患の正しい知識の周知徹底は、どのように行っているのか。〕

〔国や道からの通知に基づき学校現場へ周知するほか、市学校保健協議会と連携して、一般的知識の習得を図る研修会等を実施している。〕

〔共産党 石川明美 議員〕

〔住民税の公的年金からの特別徴収制度（天引き）について、認識を聞きたい。〕

〔納税者の利便性や市の事務処理の効率化等の面から、公共の福祉の要請にこたえる制度であるが、年金天引きという徴収方法に不満が多いことから、制度内容の周知に努めたい。〕

平成19年度 政務調査費を公表します

政務調査費の役割



議会は、市民の代表機関・議決機関として市政の幅広い分野にわたって審議・決定を行うほか、行政を市民の立場から監視（チェック）しています。

分権時代においては、住民ニーズの多様化と相まって、住民の負託にこたえるための専門的知識が必要とされ、特に、不断の調査研究活動が求められています。

政務調査費は、議会がこれら役割を果たし、議員活動を充実させる経費の一部として制度化され、各会派または無所属議員に対し、月額4万円（年額48万円）交付しています。

会派別集計表（平成19年5月～平成20年3月まで）

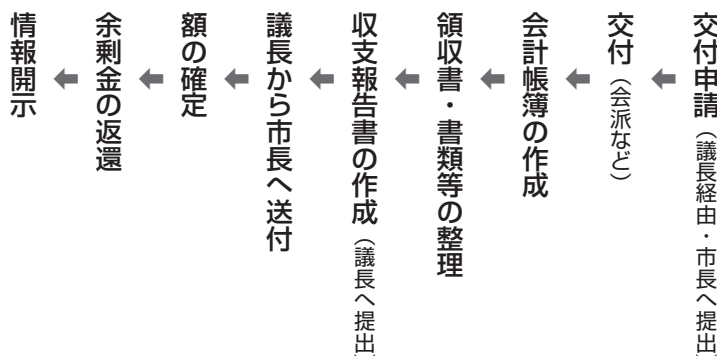
会派名	項目	交付額(円)	実績額(円)	執行率(%)	主な用途
くしろ自民クラブ	(7)	4,620,000	5,025,082	100.0	調査旅費、研究研修費 等
市民連合議員団	(6)	4,020,000	3,677,458	91.5	調査旅費、研究研修費 等
公明党議員団	(5)	3,300,000	3,235,486	98.0	調査旅費、事務所費 等
日本共産党議員団	(4)	2,640,000	2,263,088	85.7	広報費、調査旅費、研究研修費 等
自由新政クラブ	(4)	2,640,000	2,290,269	86.8	調査旅費、その他の経費
阿寒音別クラブ	(4)	2,640,000	1,811,569	68.6	調査旅費、事務所費 等
市政クラブ	(2)	1,380,000	706,628	51.2	事務所費、調査旅費 等
(無所属) 二瓶雄吉		600,000	409,746	68.3	調査旅費、研究研修費 等
(無所属) 藤原 厚		600,000	221,787	37.0	調査旅費、研究研修費 等

*19年度は4月22日に議員選挙があったため、5月から翌年3月までの11カ月分について掲載。交付額は月額6万円だが、20年度から4万円に削減している。()は、会派人数。なお、交付額と実績額に差が生じた場合は市に返還し、不足した場合は会派で負担している。

透明性と公開性の確保

交付に当たり、取扱い要領により用途基準を明確化させたほか、20年度分から収支報告書や出張報告書を市ホームページで掲載、市政情報コーナーなどでも5年間公開します。利用時間は午前8時50分から午後5時20分までです。(土・日、祝日、年末年始を除く。)

交付申請から情報開示までの流れ



市政情報コーナー（市役所1階）

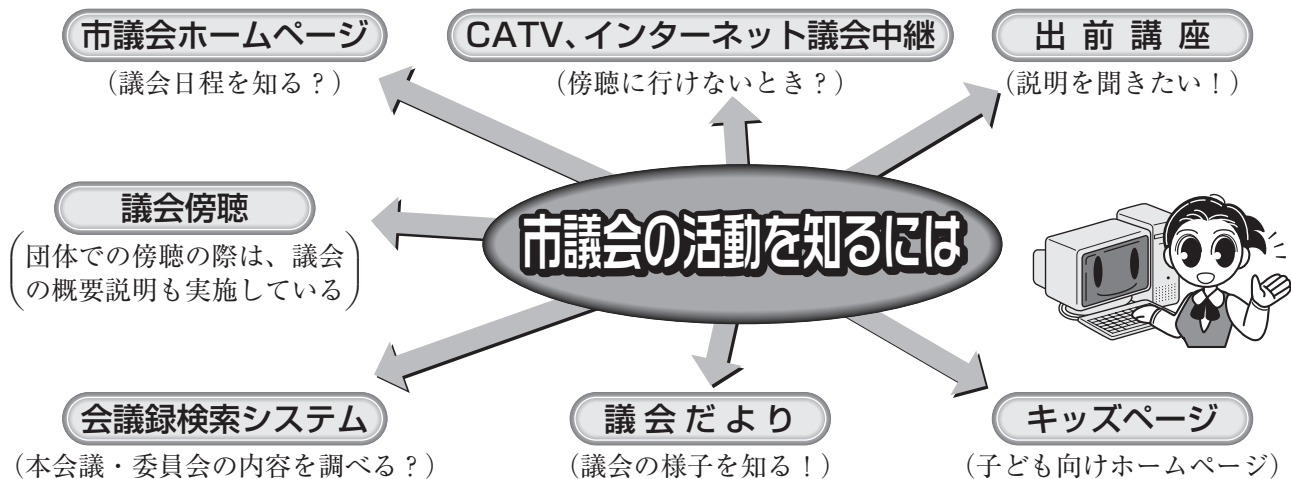
議会改革への取り組みは

釧路市議会では、「市民に開かれた、わかりやすい議会」を目指し、昨年6月に議会史上初の「議会改革等検討協議会」を設置して、自ら改革を進めています。6月19日、二瓶雄吉議長に対し第1次最終答申を行いましたので、その概要をお知らせします。



主な見直し項目と内容

項目	内容	効果額(年間)等
本会議運営に関すること 委員長報告	本会議の委員長報告は、採決結果のみ口頭報告することにし、議席、理事者席、傍聴席へは審査概要書の配付で報告時間を大幅に短縮した。(20年2月定例会から)	本会議運営の効率化
委員会運営に関すること 決算認定の時期	従来は閉会中に審査し、11月臨時会と12月定例会で採決していたが、9月定例会で「決算審査特別委員会」を設置し、会期中に審査を行うことにした。(19年度決算審査から)	11月臨時会の定例化廃止
請願(陳情)者の委員会での趣旨説明	請願(陳情)の提出時に、提出者からの申し出があれば委員会で趣旨説明ができることにした。(20年2月定例会から)	「開かれた議会」の一環
議会費に関すること 費用弁償	本会議・委員会へ出席した場合に支給される費用弁償を廃止 日 当 5,000円/日 交通費 37円/km (旧阿寒町・旧音別町の区域に住所を有する議員に支給) (19年10月1日から)	9,833千円
政務調査費	①支給額の減額 6万円/月額(72万円/年額)⇒4万円/月額(48万円/年額) ②用途基準の明確化(取扱い要領の作成) ③情報公開の促進(収支報告書、出張報告書の開示) (20年度から)	8,160千円
議員期末手当	平成20年度の議員期末手当削減(3.4カ月⇒3.0カ月)	9,756千円
議員定数	議員定数の削減(次の一般選挙から34名⇒28名) *法定数34名	48,069千円
海外視察	廃止(ただし、市や公的団体等から要請があった場合など、協議により友好、交流事業に限定して派遣)	



建設常任委員会

住宅の耐震化促進へ向け
6月から住民説明会を実施

4月から実施している無料耐震診断の受付件数が少なく、27年度までに住宅の9割を耐震化する目標を達成するためには、該当者への個別通知など、意識啓発が必要でないか質問がありました。



無料耐震診断等の住民説明会

理事者は、6月から市内を8地区に分けて、無料耐震診断や耐震改修補助制度について説明会を実施しており、開催に当たっては、全ての地区住民へ周知できるように、町内会の回覧板を活用している。今後も、継続的に広報くしろ

や市のホームページを利用した周知を行うなど、耐震化に向けた取り組みを進めていきたいと答えました。

石炭対策特別委員会

産炭国石炭産業高度化事業
継続に向けて国へ要請

産炭国石炭産業高度化事業の継続のために、市民炭鉱である釧路コールドマイン(株)と市は、常に同一認識のもとで事業に取り組み、行動をとるにすることが大切であるが、今後、国に対してどのような働きかけをしていくのか質問がありました。

理事者は、炭鉱技術研修や市民交流のためのバックアップ体制などは、ベトナム・中国などの研修国からも評価されている。今後とも機会をとらえ、長期的な視野に立ち、市長を先頭に経済界や議会が一丸となり、同事業の継続を国へ要請していきたいと答えました。

総務文教常任委員会

仁々志別中学校
来年度にも統合へ
阿寒地区の仁々志別中が阿

寒中へ統合することに関し、既に地域住民の理解が得られたと聞いている。来年度からの統合に向けた取り組みを進めるべきでないか質問がありました。



中学校統合の機運が高まる仁々志別小中学校

理事者は、地域住民の意見がまとまり、保護者から早期統合を目指してほしいとの意見が出されていた。今後、釧路市立学校設置条例を改正するなど所要の事務手続きを12月議会までに進めていけば、来年度の統合には間に合う見通しである。統合後の生徒の通学は、安全確保上もタクシー利用が必要不可欠なことから、新年度予算に向け、しっかりと要求していきたいと答

財政経済常任委員会

釧路地域の基本計画策定
地元関連企業の立地推進へ

企業立地促進法に基づき策定した釧路白糠地域の基本計画案は、達成目標を設定しているが、どのように算定したのか。また、目指す集積産業として、地域資源関連産業など4分野が示されているが、地元中小企業の振興に結びつく足がかりとなるよう、すそ野を広げて進めるべきでないか質問がありました。

理事者は、同法には企業立地に向けた一定の目標があることから、新総合計画の指標と整合性をとりながら設定した。集積業種は、できるだけ広く地元企業の意見を聞きながら、関連企業の立地を進めることで、地域の特色が生まれるものと考えていると答えました。

民生福祉常任委員会

容器包装リサイクル
一層の分別周知徹底を

民間処理施設の委託稼働によりプラスチック製容器包装

のリサイクルが始まったが、分別状況が悪いため、再度、市民に対し分別の周知をすべきでないか質問がありました。



プラスチック製容器包装のリサイクル作業

理事者は、ごみ処理有料化に伴い、プラスチック製容器包装は資源物として回収している。しかし、処理施設が未整備なため、暫定的に埋め立て処分を行ってきたことから、分別状況は把握できなかった。民間処理施設の委託稼働が4月から始まり、不適物の混入も見受けられるため、今後は収集時における排出状況の把握に努め、地域ごとの指導強化を図り、さらに分別の周知徹底を進めていきたいと答えました。

平成20年第2回5月臨時会審議結果

○賛成 ×反対

件名	議案	議員名							審議結果
		くしろ市民クラブ(7)	市民連合議員団(6)	公明党議員団(5)	日本共産党議員団(4)	自由新政クラブ(4)	阿寒音別クラブ(4)	市政クラブ(2)	
予算	20年度補正予算 一般会計(2,770千円、総額95,102,770千円) / 老人保健特別会計(309,308千円、総額2,002,374千円)	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産	備品取得 バスケット台(33,600,000円) / 得点表示盤(30,948,750円) / 心肺持久力系マシン(25,567,500円)	○	○	○	○	○	○	○	可決
契約	工事請負 本庁舎耐震改修工事(513,450千円) / 阿寒中学校第2期建築主体工事(490,350千円)	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	選任 監査委員(宮下健吉氏・新任)	○	○	○	○	○	○	○	同意
条例	制定条例 市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例(期末手当の減額 3.4カ月から3.0カ月)	○	○	○	×	○	○	○	可決
	市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例(期末手当の減額 3.4カ月から2.95カ月)	×	×	×	○	×	×	×	否決

平成20年第3回6月定例会審議結果

○賛成 ×反対

件名	議案	議員名							審議結果
		くしろ市民クラブ(7)	市民連合議員団(6)	公明党議員団(5)	日本共産党議員団(4)	自由新政クラブ(4)	阿寒音別クラブ(4)	市政クラブ(2)	
予算	20年度補正予算 一般会計(339,717千円、総額95,442,487千円) / 老人保健特別会計(6,783千円、総額2,009,157千円) / 介護保険特別会計(125,064千円、総額10,046,917千円) / 病院事業会計	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	一部改正条例 乳幼児医療費助成条例 / 新産業創造等事業促進条例 / 消防団員等公務災害補償条例 / 市税条例及び都市計画税条例 / 重度心身障害者医療費助成条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産	車両取得 ロータリー除雪車 1台(22,564,500円)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	土地取得 緑ヶ岡2-25-6ほか 1,053,278.67平方メートル(土地開発公社保有地、445,360,027円) / 音羽1-1188 277,777.44平方メートル(自然環境保全用地、499,999,392円)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	土地取得・建物取得 桜ヶ岡2-3-64ほか 58,554.85平方メートル(公共施設用地、255,630,000円) / 高山粗大ごみ処理センター用建物等 999.84平方メートル(公共施設、218,460,000円)	○	○	○	×	○	○	○	可決
市道	認定 1路線(臨海4号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	廃止 1路線(臨海4号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
契約	工事請負 釧路港東港区川上町旭町物揚場改良工事その1(191,835千円) / 釧路港東港区川上町旭町物揚場改良工事その2(228,900千円)	○	○	○	○	○	○	○	可決
町区域	設定、廃止及び変更並びに町の名称の変更 阿寒町地区(本町地区及び阿寒湖温泉地区を除く)	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	和解成立の件2件(市立釧路総合病院における医療事故等)	○	○	○	○	○	○	○	可決
専決	19年度補正予算 一般会計(47,693千円、総額99,691,370千円)	○	○	○	○	○	○	○	承認
処分	国民健康保険特別会計	○	○	○	×	○	○	○	承認
	一部改正条例 市税条例及び都市計画税条例	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	一部改正条例 公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例	×	○	×	○	×	×	×	否決
意見書	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書 / 国営造成農業水利施設等の確実な整備・維持に関する意見書 / 飼料価格の高騰対策に関する意見書 / 精神科医療の充実に向けての意見書 / 地方議会議員の位置づけの明確化を求める意見書 / 保育所や放課後児童クラブなどに対する子育て支援予算の財政措置に関する意見書 / 輸入食品の検査・検疫体制の抜本的強化を求める意見書 / 地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書 / 重度心身障害者医療費助成制度に関する意見書 / 「アイヌ民族に関する総合的施策確立のための審議機関設置」に関する意見書 / 米国の「北朝鮮に対するテロ支援国家指定解除」に反対する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
	米国の「北朝鮮に対するテロ支援国家指定解除」に反対する意見書	○	×	○	×	○	○	○	可決
陳情	請願・陳情(継続審査中で引き続き「継続審査」となったものは除く)								
	アイヌ民族に関する総合的施策確立のため国に審議機関設置を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	○	採択
	季節労働者対策の強化を求める意見書の件(第1項・第2項・第3項)	×	○	×	○	×	×	×	不採択
	住民税の公的年金からの天引き中止を求める件	×	○	×	○	×	×	×	不採択
	了R北海道への要望に関する件	×	×	×	○	×	×	×	不採択
市長提出	専決処分報告7件(交通事故損害賠償額の決定等3件 / 物損事故損害賠償額の決定等4件) / 19年度一般会計予算繰越費繰越計算書 / 19年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書 / 19年度介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書 / 19年度水道事業会計繰越費の繰り越し / 19年度港湾整備事業会計繰越費の繰り越し / 19年度市設魚揚場事業会計予算弾力条項の適用 / 経営状況説明書提出8件(土地開発公社、西港開発埠頭株、(助)市民文化振興財団、(助)スポーツ振興財団、(助)北斗霊園、(助)公園緑化協会、(助)住宅公社、(助)釧路根室圏産業技術振興センター)								完了
監査委員提出	監査報告書 / 例月現金出納検査報告書(1~3月分)								完了

※ 現在、無所属議員は2名であるが、二瓶議長は採決に加わっていないため、1名としている。

監査委員を選任
5月臨時会では、市長から監査委員に宮下健吉議員を選任する提案があり、議会はこれに同意しました。

永年在職議員表彰
全国市議会議長会総会で次の議員が表彰され、6月定例会に先立ち、議長から表彰状が伝達されました。
〈議員在職15年以上〉
西 直行議員
戸田 悟議員 黒木 満議員
石川明美議員

「林活議連」総会を開催
釧路市議会森林・林業・林産業活性化推進議員連盟(会長 藤原 厚議員)の定期総会を6月20日、本会議場で開催しました。総会では、19年度の事業報告や会計報告、20年度の活動計画案や予算案などを承認しました。

姉妹都市・湯沢市へ義援金
市議会では、6月27日、岩手・宮城内陸地震の被災地にあてた義援金10万円を伊東良孝市長へ手渡しました。義援金は、30日、市から姉妹都市の秋田県湯沢市へ送られました。